

平成22年度 事務事業評価シート（平成21年度実績分）

事務事業名	平和の日記念事業費		部課コード	0502	予算事業科目	010201140132	事	単	区分	継続	
所管部署	担当部局	総務部	部長名(2次評価者)	中澤 慎二		個別事務	全部	010201140132	-	1	
	担当部署	総務課	所属長名(1次評価者)	貞廣 岳士					-		
	電話番号	088-023-9411	E-mail	kc-050200@city.kochi.lg.jp					-		

1 事業の位置付け

予算科目(平成21年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け										
会計	01 一般会計	目標	02 いきいきと輝き安心して暮らせる都市	政策基本方針	同和問題をはじめとする様々な人権問題の解決を図るとともに、平和を尊び、守り続けて行くための活動を推進する。						
款	02 総務費	政策	09 人権と平和が尊重される社会づくり								
項	01 総務管理費	施策	02 平和都市づくり								
目	14 諸費	区分	01 平和活動の推進								

2 事業の根拠

法律・政令・省令		法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等		
その他(計画、覚書等)	「高知市平和の日」制定についての決議(平成元年3月27日)	

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	市民	
意図	どのような状態にしていくのか	戦争の悲惨さや平和の尊さを市民に正しく伝え、平和を守ることの大切さを考える機会とするとともに、平和思想の普及啓発を行う。	
手段	事業実施体制等	「高知市平和の日」記念事業実行委員会	事業開始年度 平成4年度
			事業終了年度 -
活動内容	どのような事業活動を行うのか	企画展、講演会、記録フィルム・映像資料の上映、戦時代用食の試食、作品展 等	
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方
	A	「高知市平和の日」記念事業入場者数	8月6日から8月15日の間に自由民権記念館で実施される企画展等の入場者数
	B		
	C		

4 事業の実績等

			19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(計画)	備考欄
成果指標	A	「高知市平和の日」記念事業入場者数	目標				
		実績	2800	2800	2400		
	B	目標					
		実績					
	C	目標					
		実績					
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	602	1,331	1,150	868	
		財源内訳	国費 (千円)				
			県費 (千円)				
			市債 (千円)				
			その他 (千円)				
			一般財源 (千円)	602	1,331	1,150	868
	翌年度への繰越額 (千円)						
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	3,000	1,840	1,840	1,840	
		正規職員 (千円)	3,000	1,500	1,500	1,500	
		その他 (千円)		340	340	340	
		人役数 (人)	0.40	0.40	0.40	0.40	
		正規職員 (人)	0.40	0.20	0.20	0.20	
		その他 (人)	0.00	0.20	0.20	0.20	
	総コスト= ① + ② (千円)		3,602	3,171	2,990	2,708	
	市民1人当たりコスト (円)		11	9	9		総コスト/年度末人口
年度末住民基本台帳人数 (人)		341,544	340,695	339,714			

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

「平和の日記念事業」の企画展等に会場してくれた人が多いほど、平和思想の普及啓発が広くされることとなるが、それ以外にも、マスコミの情報発信による平和思想の普及啓発もなされている。また、本事業は、市民参加による「実行委員会方式」であり、行政と市民が一体となって実施される「協働」の事業でもある。

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 27 日）

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	4.0	総合計画「平和尊重の理念」施策として、「平和に対する市民意識の向上を図るため、今後も平和事業の取り組みを拡充する」となっている。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	B		
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	B	3.0	成果指標の目標値については、具体的には設定していないが、毎年度、円滑に事業を実施している。戦争の悲惨さ、平和の大切さを若い世代へ引き継いでいく必要があるため、若年層の参加を促すような企画を実施。若年層を含めた入場者数のさらなる増加が課題である。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	B		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	5.0	市民参加の「実行委員会方式」で実施しており、市民との協働事業である。平成19年度までは、「憲法・平和市民のつどい」を実施していたが、事務事業の見直しにより、平成20年度からは、「憲法・平和市民のつどい」の事業を、「平和の日記念事業」に統合した経緯がある。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	A		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	5.0	高知市民全体への平和思想の普及啓発であり、公平性は保たれている。平和思想の普及啓発事業であり、受給者負担の視点には馴染まない。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合 評価	17.0	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)			

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 29 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	市民に対する平和思想の普及啓発は、本市として今後も実施していく必要があるが、事業内容については毎年検証し、必要な場合は見直していくことが重要である。
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--